

自然素材住宅新聞

発行 自然素材建築研究所
 グランディアホーム(株)
 〒285-0837
 千葉県佐倉市王子台1-21-2
 TEL 043-461-9065
 FAX 043-489-0275
 URL http://grandiahome.jp
 e-mail info@grandiahome.jp

地元で育った良質な『千葉県産の木材』②

先月から3回に分けて解説している「地元で育った良質な千葉県産の木材」をお伝えします。

先月号のおさらいになりますが、自然素材建築研究所では、日本の住宅建築の伝統工法である木造軸組構法の構造材（土台・柱・梁など）には、千葉県で育った木材を推奨しております。

ではなぜ、私達が県産材を推奨しているの先月号に引き続き今月号では、7つの理由のうち残りの3つをお伝えいたします。

「千葉県産材を使用する理由とは？」

5、塩分を多く含んでいるので腐りに強い

先月号でもお伝えしましたが、私達が推奨している千葉県産の木材のほとんどが南房総市・鴨川市の山から伐採しております。

それらの山は海岸線に面しており、海から近く、直線距離で約1キロくらいの場所にあります。それだけ海に近い環境で育つ木材には、多くの塩分が含まれております。

なぜならば、海に近い場所では海から吹いてくる風に多量の塩分を含んでいるので、木が成長していく過程で木材の中に塩分が蓄積されていくからです。ですから内陸で育った木材と比較すると、海に近い山で育った木には塩分が多く含まれるのです。

少し話がそれますが、古来より塩は防腐効果があり、細菌類を死滅させたり増殖を抑える働きがあります。昔から魚の塩物、漬物、味噌、醤油、など多くの食品の保存に利用されてきました。それなので塩分が多く含まれている海の近くで育った千葉県産の木は多量の塩分が

含まれているので腐食に対する耐性が強いのです。ましてや千葉の杉は、もともと油分が多く腐りに対しても強いのですが、海の近くで育ち塩分が多く含まれた木は更に腐りに対して強くなります。それを証拠に房総地方では外壁に地元産の杉を使用した築50年以上の古民家が数多く現存しております。

ここでは詳しい内容は省略しますが、自然素材建築研究所が毎月行っている自然素材の勉強会では「外国産の木材」、「国産のブランド松」、「千葉県産の木材」の三種の木材を4年間外部に放置して腐り具合を計測した実験レポートを公開しております。その実験結果からも「千葉県産の木材」は他の2種に比べて腐りに対する耐性が強い事が証明されております。

6、調湿性能と粘り強さが残る自然乾燥

切り出した木材は水分を多く含んでいる為、住宅に使用するには乾燥を行わなければなりません。乾燥の方法も大きく分けると「機械乾燥」と「自然乾燥」の2つに分けられます。

「機械乾燥」とは、木材を約120度の温度の部屋に入れ強制的に短時間で水分を蒸発させる方法です。「機械乾燥」を行った木材は含水率（体積に対する水分量）は15%くらいまでになります。それに対して「自然乾燥」は、長い時間をかけて少しずつ木材の水分を少なくする乾燥方法です。

「自然乾燥」は、「機械乾燥」と比較すると時間もかかりますし、含水率も30%前後と「機械乾燥」の木材と比較すると水分が多く含まれています。私達、自然素材研究所では、この2種類の乾燥方法のうち、木材の乾燥方法に「自然乾燥」を推奨しております。

では、なぜ私達が時間や手間のかかる「自然乾燥」を推奨しているかという点、「自然乾燥」の木材には木が本来持っている自然の良さが残るからです。例えば「香り」、「色」、「ツヤ」は勿論ですが、特に調湿性能（湿度を調整する機能）と「粘り強さ」が残るのが大きなメリットです。

調湿性能が残るので、壁の内部でも柱の木材が呼吸を行うので結露が起りにくくなりますし、粘り強さが有るので「機械乾燥」を行った木材に有りがちな「内部割れ」の発生を抑える事が出来ます。

（内部割れとは、木材の内部がビスケット状に脆くなる事です）

7、整備された山から採れた木を使用する事が出来る

先月号から「千葉県産の木材を推奨する理由」をお伝えしてきましたが、7つ目のこの項目が一番重要だと私達は考えております。



▼樹齢130年の千葉県産の杉を使用した梁
 こんなに太い梁でも集成材ではなく、無垢杉を使用します。白黒画像だと分かり難いですが、杉の中心部の色が濃い部分である心材を使用しているのが腐食や強度がとて強いです。

その項目とは、「間伐（間引き）や枝打ち（枝を切る）などの整備が行き届いた山で丹精込めて育てられた木を使用する」という事です。似たような環境で育った木でも整備された山で育った木では、製材されて土台や柱になった時の品質に大きな違いが現れます。また、木の育った山を確認出来る、トレサビリティが、きちんと取れるのも地元産の木を使用する大きなメリットです。

食品でもそうですが、木材でも産地が偽装されているケースが残念ながら、まだまだ後を絶ちません。そういった事無きように私達は、建主の方に実際に住宅に使用する木が育てられている山へ足を運んでいただく事をおススメしております。

一生に一度の家作りに関する重要な部分なので、皆様もぜひ一度、山へ足を運んでみる事をおススメします。

弊社では毎月、第二、第四、日曜日に「自然素材の勉強会」を行っております。そちらの勉強会へ参加頂ければ、実際に自然素材に触れて頂き、さらに自然素材について詳しくご説明をさせていただきますので、お気軽にご参加下さい。



◀「自然乾燥」は、とても手間隙が掛かる昔ながらの乾燥方法です。時間や手間を掛けて少しずつ木材を乾燥させる事が出来ます。それなので、木の繊維を死滅させる事無く製品にすることができます。

自然乾燥を行っている木材